平成 23 年 11 月 2 日

各　　位

会 社 名 アドアーズ株式会社
代表者名 代表取締役会長　藤澤　信義
（JASDAQ・コード番号　4712）
問合せ先　取 締 役　　沖　聡
（TEL.　03－5623－1115）

# 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想（非連結）の修正ならびに第 2 四半期累計期間の配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 8 月 9 日付「平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

## 1、業績予想の修正について

### 1）. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正

（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 第 2 四半期累計純利益 | 1 株当たり第 2 四半期累計純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A） | 12,500 | 650 | 550 | 560 | 4 円 91 銭(※) |
| 今回修正予想（B） | 12,275 | 840 | 780 | 870 | 7 円 62 銭(※) |
| 増減額（B－A） | △225 | 190 | 230 | 310 | － |
| 増減率〔(B)－(A)〕/(A) | △1.8% | ＋29.2% | ＋41.8% | ＋55.4% | － |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ご参考　平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間実績（前期） | 12,640 | 575 | 468 | 185 | 1 円 76 銭 |

※第 2 四半期末での期中平均株式数 114,109,428 株にて算出

### 2）. 平成 24 年 3 月期業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A） | 24,000 | 1,000 | 800 | 700 | 5 円 98 銭(※) |
| 今回修正予想（B） | 23,600 | 1,050 | 900 | 900 | 7 円 69 銭(※) |
| 増減額（B－A） | △400 | 50 | 100 | 200 | － |
| 増減率〔(B)－(A)〕/(A) | △1.7% | ＋5.0% | ＋12.5% | ＋28.6% | － |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ご参考 平成 23 年 3 月期実績(前期) | 25,945 | 263 | 74 | △4,197 | △39 円 77 銭 |

※期末での推定期中平均株式数 117,076,461 株にて算出

3)．修正理由

当期につきましては、主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、お客様の満足度を維持しながら電力供給不足等の外部環境・社会要請にも呼応できる運営体制の構築を進めております。

また、新経営体制のもと、聖域なき社内変革と徹底した各種コスト削減・合理化策を推進しており、堅調な収益改善の進捗をふまえ、平成 23 年 7 月 26 日付「特別利益の発生ならびに平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ」ならびに平成 23 年 8 月 9 日付「平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ」のとおり、各利益項目を修正しております。

このような状況の中、リスク要因として想定していた原子力発電所の事故等の影響による夏休みシーズンの業況については概ね計画通りであったものの、設計・施工事業における受注案件の一部の完工が 10 月度にずれこんだことなどから、第 2 四半期累計期間の売上高につきましては若干の未達の見通しとなりました。

他方、収益面におきましては上記記載のとおり、主力のアミューズメント事業の進捗が概ね計画通りで進捗したことに加え、前期赤字決算からのⅤ字回復に向けた各種合理化策によって、社会が求める省エネ対応をはじめ、一層の効率的な運営体制の構築やコスト削減を社員一丸となって実現できたこと、更には有利子負債の圧縮による金利負担減などから、第 2 四半期累計期間の営業利益・経常利益につきまして再度修正を致します。

また、当期推し進めている不採算店舗の閉鎖につきまして、9 月末まで累計 10 店舗を閉店致しましたが、これらの閉店に伴う各種負担が想定を下回る範囲におさまったことなどもふまえ、第 2 四半期累計期間の純利益につきましても上方に修正致します。

なお、通期の見通しにつきましては、第 2 四半期累計期間までの好調な業績推移、想定以上の収益体質への転換は進んでいるものの、ヨーロッパ圏に代表される不透明な国際経済情勢に影響されるであろう国内経済・個人消費動向等を慎重かつ保守的に勘案した上で、売上高ならびに各利益項目について修正するものと致します。

2、配当予想の修正

| | 年間配当金（円） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (平成 23 年 8 月 9 日発表) | | ― | | ― | ― |
| 今回修正予想 | | 0 円 00 銭 | | ― | ― |
| 当期実績 | | | | | |
| 前期(平成 23 年 3 月期)実績 | | 0 円 00 銭 | | 0 円 00 銭 | 0 円 00 銭 |

上記のとおり、新経営体制によるⅤ字回復への道程につきましては概ね計画通りに進捗しているものの、過去の収益水準と比べた場合、まだ道中半ばであることは否めず、未定としておりました中間配当予想につきましては、例年と同じく 0 円と見送る予定と致します。

また期末配当につきましても、中長期的なリスク要因にもなりえる国際経済情勢の影響等を慎重に勘案すべき段階かつ、上記記載のとおりⅤ字回復への道半ばであることから、現時点では未

定を継続するものとし、内外状況をふまえた上で決定するものと致します。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、予想とは異なる可能性があります。なお、当社の平成 24 年 3 月期の第 2 四半期累計期間の決算短信（非連結）は平成 23 年 11 月 11 日を開示予定としております。

以　上